

- 問1 日本の歴史における政治体制の変遷に関連して、天武天皇、平清盛、北条時宗、水野忠邦の4人が関わった出来事を、古いものから順に正しく並べたものはどれですか。 (2024年 岩手県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 中央集権的な律令国家の確立 → 外国勢力（元）による侵攻への防衛 → 武士による初の政権掌握 → 幕府体制を立て直すための政治改革 | 2. 武士による初の政権掌握 → 中央集権的な律令国家の確立 → 外国勢力（元）による侵攻への防衛 → 幕府体制を立て直すための政治改革 | 3. 中央集権的な律令国家の確立 → 武士による初の政権掌握 → 外国勢力（元）による侵攻への防衛 → 幕府体制を立て直すための政治改革 | 4. 中央集権的な律令国家の確立 → 武士による初の政権掌握 → 幕府体制を立て直すための政治改革 → 外国勢力（元）による侵攻への防衛 |
|--|--|--|--|
- 問2 江戸時代の農村で商品作物の栽培や貨幣経済が普及したことによる、農民の生活の変化として最も適切なものはどれですか。 (2020年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--------------------------------------|---|-------------------------------------|
| 1. 年貢が全面的に免除されるようになり、すべての農作物を自由に販売できるようになった。 | 2. 自給自足の生活から、肥料や日用品を現金で購入する生活へと変化した。 | 3. 商業に従事することが禁止され、すべての農民が米の生産のみに専念するようになった。 | 4. 都市への移住が自由化されたため、商品作物の栽培はすぐに衰退した。 |
|--|--------------------------------------|---|-------------------------------------|
- 問3 江戸時代後期の1792年に、ロシアの使節が根室に来航した際の目的と行動の組み合わせとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|-----------------------------|--------------------------------|-----------------------------|
| 1. アメリカ大統領の国書を携え、浦賀で開国を要求した。 | 2. キリスト教の布教を目的として、鹿児島に上陸した。 | 3. 長崎に来航し、前回の交渉に対する回答と通商を要求した。 | 4. 漂流民の大黒屋光太夫を送り届け、通商を要求した。 |
|------------------------------|-----------------------------|--------------------------------|-----------------------------|
- 問4 19世紀前半の江戸幕府による対外政策の変遷について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2025年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 異国船打払令は、鎖国体制を維持するために外国船を無差別に攻撃するよう命じたものである。 | 2. 異国船打払令は、日米和親条約が結ばれたことをきっかけとして出された法令である。 | 3. 異国船打払令が出された直後に、生麦事件が起きたことで幕府は開国を決定した。 | 4. 異国船打払令は、ロシアの南下政策に対抗して北海道の警備を強化するために出された。 |
|--|--|--|---|
- 問5 江戸時代、町人や百姓の子弟が通った教育施設である寺子屋では、将来の生活や仕事に役立てるためにどのような学習内容が中心となっていましたか。 (2018年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|----------------------------|--------------------------|------------------------------|
| 1. 読み・書き・そろばんといった、実生活に直結する知識 | 2. 和歌の詠法や、朝廷で行われる伝統的な儀礼の習得 | 3. 儒学の經典の暗唱や、武士としての武術の鍛錬 | 4. オランダ語の習得や、西洋から伝わった科学技術の習熟 |
|------------------------------|----------------------------|--------------------------|------------------------------|
- 問6 江戸時代の大阪周辺には、中之島を中心に運河や淀川が大阪湾へと通じる水路が網の目のように巡らされていました。このように水上輸送の利便性が高かった大阪に、全国から海路を通じて物資が集まった背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2017年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. 参勤交代の行列が大阪を通る際、海路で運ばれた食料を支給することが義務付けられていたため | 2. 鎖国下において、唯一の海外貿易港であった長崎から届く輸入品を分配する拠点だったため | 3. 幕府が五街道などの陸路での米の輸送を法律によって厳しく禁止していたため | 4. 諸藩が領内の年貢米や特産物を販売し、現金に換えるために蔵屋敷を置いていたため |
|--|--|--|---|
- 問7 15世紀末から18世紀末までの歴史において、ヨーロッパ人の活動に関連する「コロンブスが西インド諸島に到達したこと」「鉄砲が日本の種子島に伝来したこと」「ロシアの使節ラクスマンが北海道の根室に来航したこと」の3つの出来事を年代順に並べ替えたとき、最も適切なものはどれですか。 (2022年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
| 1. コロンブスの西インド諸島到達 — 鉄砲伝来 — ラクスマンの来航 | 2. 鉄砲伝来 — コロンブスの西インド諸島到達 — ラクスマンの来航 | 3. 鉄砲伝来 — ラクスマンの来航 — コロンブスの西インド諸島到達 | 4. コロンブスの西インド諸島到達 — ラクスマンの来航 — 鉄砲伝来 |
|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------|
- 問8 1603年に朝廷から征夷大將軍に任命されて江戸幕府を開き、死後は栃木県の日光東照宮に神としてまつられている人物は誰か。 (2019年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 徳川家光 | 2. 徳川家康 | 3. 織田信長 | 4. 豊臣秀吉 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問9 伊能忠敬が岩手県の沿岸部を含む日本全国で行った、地図作成のための活動内容として最も適切なものはどれですか。当時の記録資料や各地に残る記念碑から読み取れる状況に基づいて選びなさい。 (2020年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 実際に現地を歩き、測量器具を用いて距離や方位を細かく測定した。 | 2. 各地の藩が作成した古地図を幕府の資料室でつなぎ合わせた。 | 3. オランダから輸入された世界地図を日本語に翻訳・模写した。 | 4. 富士山などの高い山に登り、遠くに見える海岸線の形を写生した。 |
|------------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|
- 問10 江戸時代の外交において、幕府が長崎の出島でオランダとの貿易を継続させた際、その許可の前提となった条件について述べたものとして正しいものはどれですか。 (2024年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------|--------------------------------|----------------------------|----------------------|
| 1. 対馬を通じた朝鮮との貿易にもオランダが協力すること | 2. 幕府が指定したキリスト教の教典のみを日本に持ち込むこと | 3. オランダ人が江戸に居住し、日本の法律に従うこと | 4. キリスト教の布教を一切行わないこと |
|------------------------------|--------------------------------|----------------------------|----------------------|
- 問11 江戸幕府は、領地の配置において軍事的な安定を重視しました。1660年代の大名の分布状況を記した資料によれば、東北、四国、九州といった江戸から遠い場所に特定の大名が多く配置されています。このように、関ヶ原の戦い前後に幕府へ服従し、江戸から離れた土地を与えられた大名の名称として正しいものはどれですか。 (2024年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|---------|---------|
| 1. 親藩 | 2. 旗本 | 3. 譜代大名 | 4. 外様大名 |
|-------|-------|---------|---------|
- 問12 江戸幕府が長崎奉行に対し、外国船の来航禁止や日本人の海外渡航禁止を命じた一連の政策（鎖国体制の形成）について、その背景にある幕府の意図を説明したものとして最も適切なものを選びなさい。 (2021年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 諸大名に自由な海外貿易を奨励し、その収益に対して重い税を課すことで幕府の財政を潤すため | 2. 清（中国）からの軍事的侵攻を防ぐため、長崎以外のすべての港を封鎖して防衛を固めるため | 3. 貿易の利益を幕府が独占し、キリスト教の広まりを抑えることで、幕府の支配力を強化するため | 4. 鎖国によって海外との情報の往来を完全に遮断し、日本の独自の文化のみを発展させるため |
|--|---|--|--|
- 問13 江戸幕府が大名に対して定めた法令の中には、「諸国の城を修理する場合は、必ず幕府に申し出ること」という規定がありました。このような厳しい制限を設けた幕府の狙いとして、最も適切なものはどれですか。 (2020年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 大名が軍事的な拠点を強化して、幕府に対して反乱を起こす準備を整えることを防ぐため | 2. 各地の城のデザインを江戸城と同じものに統一し、幕府の権威を視覚的に示すため | 3. 城の修理にかかる費用を幕府が全額負担するために、事前に予算を把握する必要があったため | 4. 古い城を壊して新しい城を建設することを推奨し、各地の城下町の景気を活性化させるため |
|---|--|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 中央集権的な律令国家の確立 → 武士による初の政権掌握 → 外国勢力（元）による侵攻への防衛 → 幕府体制を立て直すための政治改革	天武天皇は7世紀に天皇中心の政治を目指す律令体制を整えました。その後、平安時代末期の12世紀に平清盛が武士の地位を飛躍的に高めました。鎌倉時代の13世紀には北条時宗が未曾有の国難である元寇を退け、江戸時代後期の19世紀には水野忠邦が社会の混乱を鎮めるため天保の改革を断行しました。このように、日本の政治主導権は天皇から武士へ、そして幕府の維持へと変化していきました。
問2	答え 2 自給自足の生活から、肥料や日用品を現金で購入する生活へと変化した。	商品作物の栽培が盛んになると、農民はそれを売って得た現金で、生産に必要な干鰯（ほしかな）などの肥料や、衣類・道具などの日用品を購入するようになりました。このように、生活のあらゆる場面で貨幣のやり取りが必要不可欠になった現象を「貨幣経済の浸透」と呼び、従来の自給自足的な村の様子を大きく変えることとなりました。
問3	答え 4 漂流民の大黒屋光太夫を送り届け、通商を要求した。	ロシアはシベリア開発を進める中で、日本との貿易を望んでいました。その際、ロシアに漂着していた大黒屋光太夫らを引き渡すことを交渉のきっかけとして利用しました。この出来事を受けて、幕府は松平定信のもとで寛政の改革を進める一方、北方の警備（蝦夷地の調査や防衛）を強化する方針を固めることになりました。
問4	答え 1 異国船打払令は、鎖国体制を維持するために外国船を無差別に攻撃するよう命じたものである。	1820年代、日本の沿岸には捕鯨などの目的で外国船が頻繁に現れるようになっていました。幕府はこれらを排除して鎖国体制を厳守するため、1825年に理由を問わず砲撃を命じる「異国船打払令（無二念打払令）」を出しました。日米和親条約による開国や、生麦事件などの尊王攘夷運動に関連する出来事は、これよりも後の時代のことです。
問5	答え 1 読み・書き・そろばんといった、実生活に直結する知識	江戸時代の寺子屋は、庶民の教育機関として全国に普及しました。そこでは、日常生活や商売、農業の経営に欠かせない「読み・書き・そろばん」が中心に教えられ、実生活に直結する教育が行われていました。これは当時の産業の発展に伴い、文字が読め、計算ができる人材が社会的に求められていたことが背景にあります。
問6	答え 4 諸藩が領内の年貢米や特産物を販売し、現金に換えるために蔵屋敷を置いていたため	大阪は「天下の台所」と呼ばれ、全国から海路で年貢米や特産物が集まりました。各藩は大阪に「蔵屋敷」という拠点を設け、そこに集まった物資を商人に売却することで、藩の運営に必要な現金を得ていました。大阪の運河や河川は、これらの大量の物資を効率よく蔵屋敷へ運び込むために活用されていました。
問7	答え 1 コロンブスの西インド諸島到達 — 鉄砲伝来 — ラクスマンの来航	大航海時代の幕開けとなるコロンブスの西インド諸島到達は1492年、戦国時代の日本へポルトガル人によって鉄砲が伝えられたのは1543年、そして江戸時代後期にロシアが通商を求めてラクスマンを派遣したのは1792年です。15世紀末から16世紀、そして18世紀末という世紀単位の時系列を把握することが重要です。
問8	答え 2 徳川家康	関ヶ原の戦いに勝利して全国の実権を握り、江戸に幕府を開いた初代将軍についての記述である。死後は「東照大権現」という神号を与えられ、日光東照宮にまつられた。徳川家光は3代将軍であり、家康をまつる日光東照宮を現在のような豪華な社殿に改築した人物である。
問9	答え 1 実際に現地を歩き、測量器具を用いて距離や方位を細かく測定した。	伊能忠敬の地図作成の最大の特徴は、実際に自分の足で歩いて測る「実測」にあります。歩数による距離の計測や、磁石などを用いた方位の測定、さらに天体観測による緯度の修正を組み合わせることで、当時としては画期的な正確さを実現しました。岩手県沿岸部にも測量隊が訪れたことを示す碑が今も大切に保管されています。
問10	答え 4 キリスト教の布教を一切行わないこと	幕府がオランダに対して貿易を許可した決定的な要因は、宗教（キリスト教）と商業の分離です。幕府は1630年代に段階的に鎖国体制を築く中で、日本国民への布教の恐れがない国を選別しました。オランダは幕府のこの方針に従い、キリスト教の布教に関わらないことを誓ったため、唯一のヨーロッパの窓口として認められました。
問11	答え 4 外様大名	関ヶ原の戦い以降に徳川氏に服従した大名は、外様大名と呼ばれました。幕府は彼らが反乱を起こすことを警戒し、江戸から遠い辺境の地に配置することで、政治的・軍事的な安全を確保しようしました。これに対し、徳川氏の親戚である親藩や、古くから仕えていた譜代大名は、江戸に近い要所に配置されました。
問12	答え 3 貿易の利益を幕府が独占し、キリスト教の広まりを抑えることで、幕府の支配力を強化するため	江戸幕府の対外政策の目的は、大きく分けて「キリスト教の禁止」と「貿易の統制」の2点にあります。西国大名が貿易を通じて富強になることを防ぎ、幕府が長崎奉行を通じて貿易の利益を独占すること、そしてキリスト教を通じて海外勢力が日本国内の勢力と結びつくことを防ぐことが、幕藩体制を維持する上で不可欠でした。
問13	答え 1 大名が軍事的な拠点を強化して、幕府に対して反乱を起こす準備を整えることを防ぐため	城は防御の拠点であるとともに軍事的な要塞でもあります。幕府は大名が許可なく城を強化することを固く禁じることで、物理的な反抗手段を奪おうとしました。武家諸法度では、新しい城を築くことはもちろん、修理一つをとっても幕府への報告を義務付けるほど徹底した管理が行われました。